

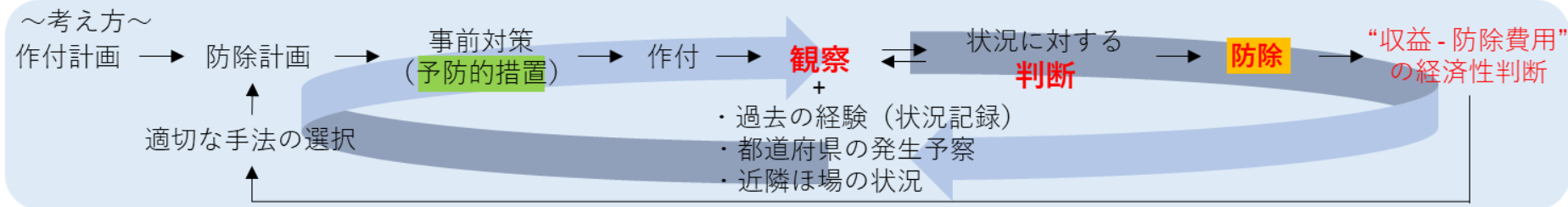
IPM体系防除①：考え方

～総合的病害虫・雑草管理（IPM：Integrated Pest Management）の定義～

○利用可能なすべての防除技術を、経済性を考慮しつつ慎重に検討し、病害虫・雑草の発生増加を抑えるための適切な手段を総合的に講じるものであり、これらを通じ、人の健康に対するリスクと環境への負荷を軽減、あるいは最小の水準にとどめるものである。

○農業を取り巻く生態系の攪乱を可能な限り抑制することにより、生態系が有する病害虫及び雑草抑制機能を可能な限り活用し、安全で消費者に信頼される農作物の安定生産に資するものである。

⇔ 様々（耕種的・物理的・生物的）な手法を“組み合わせる”ことにより、
化学農薬のみに依存しない総合的な防除体系を実施すること。“化学農薬を使用しない”ということではない



～管理のポイント～

病害虫は以下の3要素が全て好適条件（下図：3円が重複）となると発生する。発生を防ぐため、円が重ならないように各条件を管理する。



IPM体系防除②：技術の分類例

予防的措置

発生後措置

作付品目	水稲	露地品目	施設品目	果樹品目
化学的手法	<ul style="list-style-type: none"> 化学農薬 (予防剤) 化学農薬 (治療剤) 	<ul style="list-style-type: none"> 化学農薬 (予防剤) 化学農薬 (治療剤) 	<ul style="list-style-type: none"> 化学農薬 (予防剤) 化学農薬 (治療剤) 	<ul style="list-style-type: none"> 化学農薬 (予防剤) 化学農薬 (治療剤)
耕種的手法	<ul style="list-style-type: none"> 健全な種子・苗 移植 苗齢変更 周辺雑草管理 (刈払防草シート) 抵抗性品種 水口へネット敷設 秋耕 水位管理 	<ul style="list-style-type: none"> 健全な種子・苗 移植 作型変更 周辺雑草管理 (刈払防草シート) 抵抗性品種 接ぎ木 輪作体系 (緑肥含) pH矯正 畝間雑草管理 (刈払ビニールマルチ) 混植 	<ul style="list-style-type: none"> 健全な種子・苗 接ぎ木 周辺雑草管理 (刈払防草シート) 抵抗性品種 混植 畝間雑草管理 (刈払ビニールマルチ) 	<ul style="list-style-type: none"> 健全な苗 抵抗性品種
物理的手法	<ul style="list-style-type: none"> 種子温湯消毒 丁寧な耕うん代かき 収穫後温度管理 水口へネット敷設 	<ul style="list-style-type: none"> 土壤還元消毒 排水対策 (畝立暗渠明渠傾斜) 収穫後温度管理 太陽熱土壤消毒 中耕培土 寒冷紗 シルバーマルチ 	<ul style="list-style-type: none"> 土壤還元消毒 防虫ネット 排水対策 収穫後温度管理 太陽熱土壤消毒 環境制御 (施設) 蒸気消毒 粘着版 葉かき 	<ul style="list-style-type: none"> 袋掛け 排水対策 収穫後温度管理 剪定
生物的手法	<ul style="list-style-type: none"> 微生物製剤 	<ul style="list-style-type: none"> 微生物製剤 フェロモン剤 	<ul style="list-style-type: none"> 天敵生物 微生物製剤 	<ul style="list-style-type: none"> 天敵生物 微生物製剤 フェロモン剤

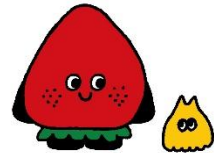
IPM体系防除③：天敵農薬と化学農薬を組み合わせた防除プログラム



- いちご栽培期間に発生するハダニは、薬剤抵抗性により、防除が非常に難しい害虫
- 全農では2020年より農薬メーカーと全国で試験を行い、天敵農薬と化学農薬を組み合わせたハダニ防除プログラムを確立（イチゴハダニゼロプロジェクト）
- ハダニ防除で困っていた生産者の課題解決に貢献できる

ICHIGOHADANI PROJECT イチゴハダニゼロプロジェクト

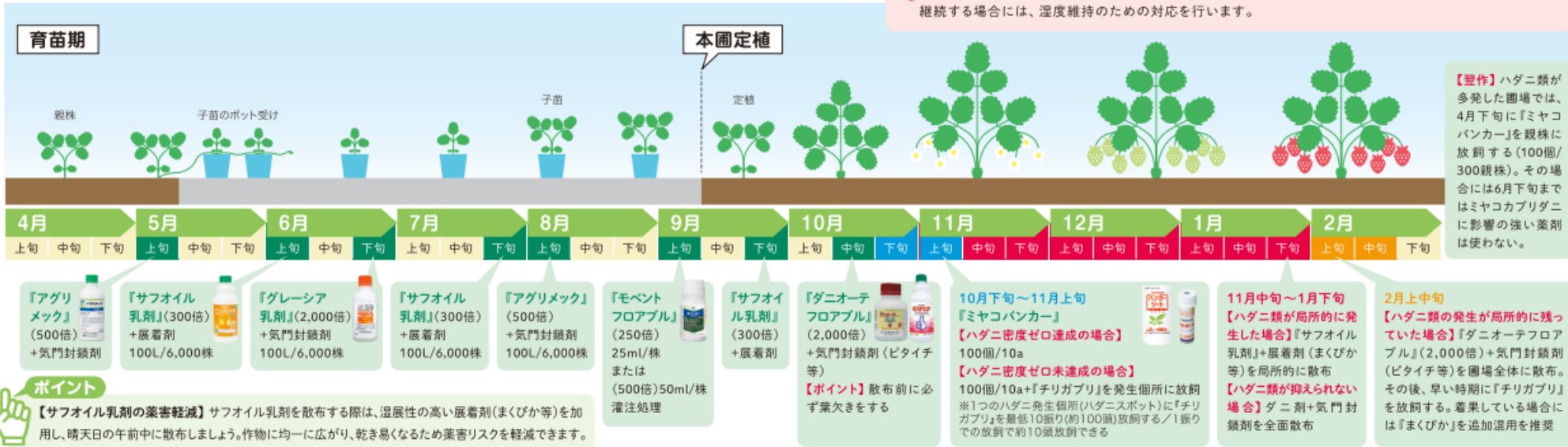
イチゴハダニゼロプロジェクトリーフレットはこちらから▼



育苗期から本圃初期の防除プログラム

チェック!

- 【注意1】『ダニオーテフロアブル』を使用する場合、銅剤は子苗や本圃では使用しないでください。
- 【注意2】天敵を導入している期間はハウス内湿度の管理に注意し、晴天日の昼間湿度50%以下が長期間継続する場合には、湿度維持のための対応を行います。



ポイント

【サフオイル乳剤の薬害軽減】サフオイル乳剤を散布する際は、湿展性の高い展着剤(まくびか等)を加用し、晴天日の午前中に散布しましょう。作物に均一に広がり、乾き易くなるため薬害リスクを軽減できます。